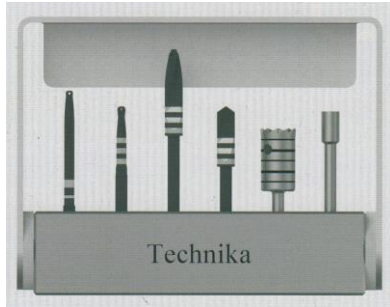


UK

UK REPORT

New Products

テクニカ ロックスタンド
 /日本歯科工業社
 <ロック式バースタンド>


日本歯科工業社から発売された“テクニカロックスタンド”は、スタンド内のゴムにより、ドリルやバーをしっかりと固定し、落下を防止するロック式バースタンドです。ドリルやバーが固定されるため、カバーを開けた状態で逆さにしても落ちません。

【特徴】

- 45mm までの様々なサイズのドリルやバー類が6本収納可能です。CA（コントラ）及びHP（ハンドピース）に対応しています。
- 材質はステンレス製で重みがあり安定感があります。
- オートクレープ滅菌が可能のため、スタンドにドリルを立てたまま滅菌が可能です。



標準価格=1個 10,000円

オーラバリア/ヨシダ
 <ラクトフェリン・
 ラクトパーオキシダーゼ含有タブレット>


2月21日にヨシダから発売される“オーラバリア”は、唾液中の成分「ラクトフェリン」と「ラクトパーオキシダーゼ」に注目し、酵素の力を高める森永乳業独自技術を応用して作られた、お口の中から体をサポートするタブレットです。

【特徴】

- すっきり爽やかなレモンミント風味です。
- 持ち運びが可能なアルミチャック包装なので、いつでも手軽に食べることができます。
- 1回1粒、1日3回を目安に、口の中でゆっくり溶かしながらお召上がりください。



患者参考価格=1袋 2,400円（税別）

ナセラ ブルーX
 /モモセ歯科商会
 <シリコニアトランス着色材料>

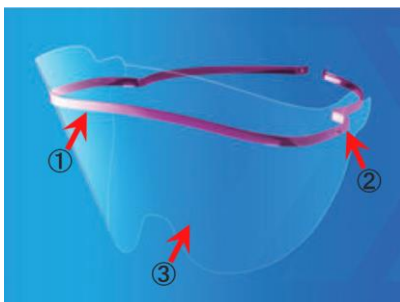

モモセ歯科商会から発売された“ナセラブルーX”は、カラーリングキットと同じプロセスで切削後の半焼結シリコニアクラウンに直接塗布するだけでトランス色の色調を再現することができる着色材料です。シントリング前のシリコニアクラウンの透明層に必要な部位に塗布することにより、シリコニアの強度を保ちながら透明性を高めます。

【特徴】

- モノリシックシリコニアクラウンワークでの前歯部・臼歯部のトランス色向上に特化した色調再現が可能です。
- 塗布する際に浸透量を調節することにより、自由に色調の再現が行えます。
- 多層構造のシリコニアディスクでロングスパンブリッジのトランス色を表現することができます。
- ブラシで数回塗布するだけでリアルなトランス色を再現することができ、トランスポジションが自由自在に表現できます。
- DOCERAM Medical Ceramics（ドイツ）が提案する新しいコンセプト製品です。

標準価格=セット 25,000円

My Recommendation

『クラリシールド』
 <ワシエスメディカル>


標準価格=フレーム 5,900円
 シールド50枚入 10,000円

眼の防護に最適な防護シールド！

今回ご紹介いたします製品はワシエスメディカル株式の『クラリシールド』です。先日、日本歯科新聞にて、新型コロナウイルスの感染対策としてマスクだけではなく目の防護具を推奨している記事^{※1}が掲載されました。エアロソールでの感染への対策とのことです。とはいえ、ゴーグルでは、耳や鼻に負荷がかかり不快感や痛みを感じたり、反射や曇りで視野が悪くなったりしたご経験は御座いませんか？クラリシールドは、そんな問題点を解決できる商品です。

特徴は、①チタン製フレームによる、高い軽量性。②日本人の頭部データベース研究による、快適な掛心地。③超低反射・防曇シールドによる、良好な視野の確保等です。また、もちろんクラリシールドは、今の状況下だけでなく通年お役に立てる商品です。

これを機会に、感染対策の向上や最適化としても、このクラリシールドをご検討されてみるのはいかがでしょうか？キャンペーンも行っておりますので、是非、カラーラインナップやデモ品など弊社営業担当者までお問合せ下さい。

※注1：「目の防護具を推奨」、『日本歯科新聞』、2020年2月4日

宮崎店 営業一課 濱田 亮

歯科医院経営を考える(509)

デンタル・マネジメント・コンサルティング
稲岡 勲

～ 行政への関心を ～

2018年7月5日改正水道法が衆議院で可決成立して以後、各地で水道の運営権を民営企業に売り渡す事例が出始めている。なぜか？それは、①施設の老朽化、②人口の減少（特に地方で）、③コンセッション方式（施設の所有権を公共主体が有したまま、施設の運営権を民間業者に委任する方式）、というのが大きな流れである。特に宮城県では上水道、下水道、工業用水の運営権を一般企業に譲渡する案が可決成立し、3月には譲渡先企業を選び、4月から実施するという計画が出ている。こうした動きを注意してみていく必要があると思う。上下水道の民営化をはじめ、TPP交渉、種子法廃止、種苗法等々の法律の改正が目白押しの感がある。どういう意図で、政策をどう変えようとしているのかを、時間をかけてしっかり見ていく必要がある。例えば種子法廃止と同時期に導入された「農業競争力強化支援法」である。それは日本の都道府県が多大な努力を払い蓄積してきた「公共種子の開発データ」を民間企業に無料で提供するというものである。なぜそこまでするのか？それはTPP（環太平洋パートナーシップ）に基づく規定からだということだが、ならばTPPそのものについても、われわれ日本人のためにプラスになるのかの問いかけが必要だと思う。アメリカのモンサント社は世界の種子会社を買収し、自社の農薬にだけ耐性を持つ遺伝子組み換え大豆を開発し、同社が特許を持つグリホサート農薬（ラウンドアップ）とセットで世界中に売り出した。これは画期的な発明で他の農薬を使うと枯れてしまうといい、一度この種子を使うと農家はその後もずっとこの種子とセットで買い続けることになるという。現在では全米の大豆の6割を占めるようになったという。ところがその大豆を日本に輸入しようとする、大豆に残留する農薬が日本の安全基準に引っかかるというので、政府はアメリカ産大豆のグリホサート残留基準を5倍に引き上げたというから驚きだ。更に2017年6月農水省はグリホサート農薬（ラウンドアップ）の残留基準を大きく緩める決定をした。トウモロコシ5倍、小麦6倍、甜菜75倍、ヒマワリの種400倍も引き上げている。こうした事実や情報を把握して、目を光らせ日常の話題にしていく必要があるのではないかと。

(つづく)

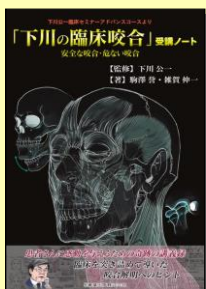
※玉手ニュース 2020年 2月号より転載。

New Books & Video

★今週の新刊

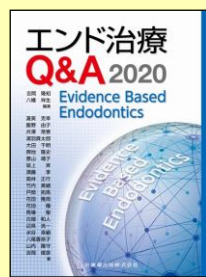
『下川公一臨床セミナーアドバンスより
「下川の臨床咬合」受講ノート』
～安全な咬合・危ない咬合～

『エンド治療 Q&A 2020』
～Evidence Based Endodontics～



「臨床を突き詰めて導いた咬合解明のヒント」をセミナー受講生の手書きノートから一冊にまとめて公開！見ただけで理解できる緻密なイラストとピンポイントのコメントが明日からの臨床に役立つ一冊。患者さんに感動を与える診療のための奇跡の議事録集！

- 監修＝下川 公一
- 著＝駒澤 誉/雑賀 伸一
- 出版＝医歯薬出版
- 価格＝7,200円＋税



好評書「一歩進んだ臨床のためのエンド治療 Q&A」に続く第2弾！刊行後に発表された論文を中心に、あらたに64のQ&Aで解説。エンド治療の知識のアップデートに最適な一冊。

- 編著＝吉岡 隆知/八幡 祥生
- 出版＝医歯薬出版
- 価格＝8,000円＋税